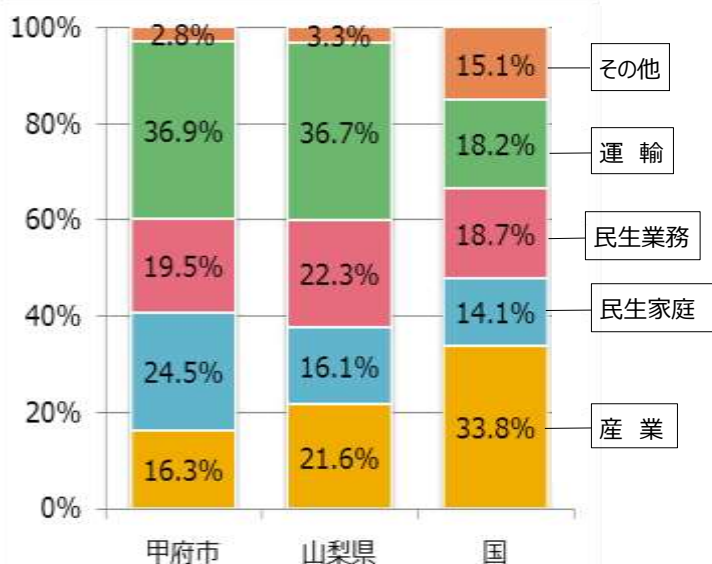


## 甲府市地球温暖化対策実行計画《H28年度年次報告概要版》

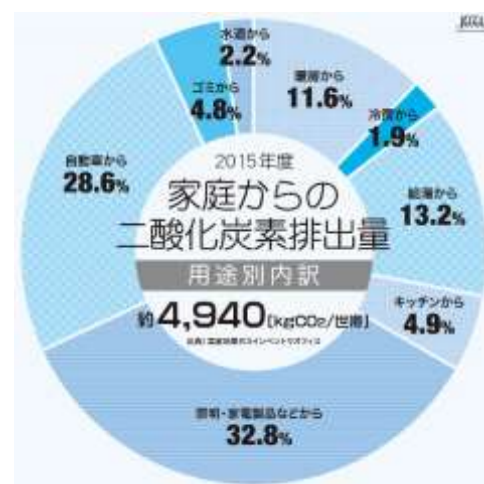
甲府市では、市民・事業者・NPO等との連携・協働により、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー活動など、温室効果ガスの排出抑制を一層図りながら持続可能な社会の実現を目指しています。

### 甲府市の温室効果ガス排出量 ～家庭・運輸から多くの二酸化炭素が排出されています～

甲府市のCO<sub>2</sub>排出量は、運輸部門の占める割合が大きいことが特徴です。また、国・県と比較すると家庭部門の割合が大きく、産業部門の割合が小さくなっています。また、全国データでは、家庭から一世帯あたり年間で約4,940kgのCO<sub>2</sub>が排出されており、用途別では32.8%が照明・家電製品など、28.6%が自動車、13.2%が給湯、11.6%が暖房の順で割合が大きくなっています。



2008（基準）年度のCO<sub>2</sub>排出量の構成割合



家庭からのCO<sub>2</sub>排出量（燃料種別）

出典：温室効果ガスインベントリオフィス

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより

■本計画は中長期的な温室効果ガス削減目標の達成に向けて、甲府市域（甲府市役所・事業者・NPO等）における温暖化対策を整理した「区域施策編」と、甲府市役所のみ事務・事業に関する取り組みをまとめた「事務事業編」で構成されています。

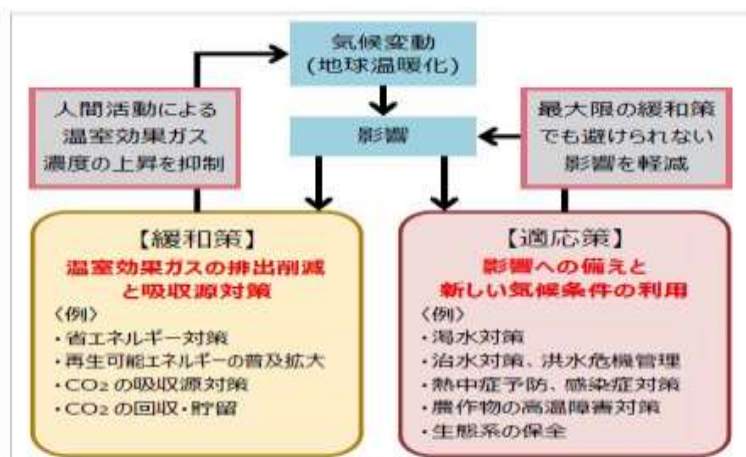


図 気候変動の緩和策・適応策の関係

出典：気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート 2012年度版（文科省・気象庁・環境省）

## 1. 区域施策編

計画の目標～中長期的に温室効果ガス排出量に取り組みます～

**中期目標**：2030年度に温室効果ガス排出量を**25%削減**します。(2008年度比)

**長期目標**：2050年度に温室効果ガス排出量を**80%削減**します。(2008年度比)

※さらに、今後のクリーンエネルギーの導入促進、省エネルギー対策、森林整備の吸収などにより、山梨県とともに、「CO2 ゼロやまなし」の実現を目指します

### ■取り組み

甲府市が、重点的に進める施策を「重点プロジェクト（6つのアクションプランと地球温暖化への適応策）」にまとめています。

#### ○アクションプラン1：環境教育・温暖化防止の啓発活動

- (1) 環境教育の推進
- (2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）

#### ○アクションプラン2：再生可能エネルギーの導入・普及促進

- (1) 太陽エネルギーの活用
- (2) バイオマスエネルギーの活用
- (3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

#### ○アクションプラン3：潤いある森林の整備

- (1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

#### ○アクションプラン4：地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

- (1) 省エネ行動の普及促進
- (2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

#### ○アクションプラン5：賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

- (1) 建物・機器による省エネの推進
- (2) 緑あふれるまちづくり（都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）
- (3) クリーンエネルギー自動車の普及促進

#### ○アクションプラン6：持続可能な循環型社会の構築

- (1) 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進

#### ○地球温暖化への適応策

- (1) 健康被害の予防
- (2) 自然（水）災害への対応
- (3) 水環境・水資源の保全
- (4) 食糧問題への対応
- (5) 自然生態系の保全

※適応策は6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合の被害を少なくするための対策に取り組むことです。

## ■平成28年度年次報告書（区域施策編）

甲府市では、平成23年度に「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、平成27年度に見直しました。施策の実施状況を明らかにするため、地球温暖化対策の推進に関する法律第二十一条第10項に基づき、年次報告書を公表しています。

年次報告書では、実行計画において重点的に取り組むこととしている「6つのアクションプランと地球温暖化への適応策」の平成28年度の実施状況などについてまとめています。

○アクションプランごとに、市域（甲府市役所、NPO、事業者など）で、様々に取り組んでいるなかでの「イチオシ」の取り組みを紹介します。

### アクションプラン1：児童生徒と取り組む環境問題【甲府市立小中学校長会】

（内容）市内小中学校では、各学校の教育課程に環境教育を位置づけ、環境教育全体計画を作成するとともに、各教科や総合的な学習の時間、児童会・生徒会活動等との関連や横断的な教育活動として、環境教育やエネルギー教育に関し様々な体験的学習を進めています。



具体的には、児童や生徒の目線での身近な生活や自然との関わりの中での環境問題の把握と、子ども達なりの改善策を考えさせる活動を通して、持続可能な社会の構築に向けて地球規模での環境保全に貢献する人づくりを目指しています。

### アクションプラン2：汚泥焼却炉における重油（化石燃料）を代替エネルギー【木質系補助燃料（ペレット）】に転換【甲府市】

（内容）平成21年9月に甲府市浄化センターの汚泥焼却炉の投入装置を改修し、砕いた間伐材などを圧縮した固形燃料（ペレット）を投入することで、汚泥焼却処理の補助燃料として使用できるようにしました。汚泥焼却方法は、およそ850℃に熱せられた珪砂と補助燃料と脱水した汚泥を炉内で流動接触させて焼却を行っています。



### アクションプラン3：「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動【甲府市】

（内容）市民の水源林は、秩父山系の主峰金峰山の南に広がる森林です。この森林は甲府市水道水源保護地域とされ、「緑のダム」としての重要な役割を担っており、この水源林を次世代に残すため、毎年広葉樹の植樹を行っています。



### アクションプラン4：ぶどう等による緑のカーテンづくり【国母工業団地工業会】

（内容）国母工業団地工業会では、地球温暖化防止に向けた具体的な行動として、ぶどうやゴーヤによる緑のカーテンづくりに団地内の12社が取り組んでいます。





## アクションプラン5：防犯街路灯の設置及びLED導入等への助成【甲府市】

（内容）甲府市では、昭和52年度より、自治会が管理している街路灯の設置費用や維持をする経費等に対し、助成を行ってきました。こうした中、自然環境への配慮をはじめ、維持管理に係る負担軽減を図るため、平成26年度から平成30年度までの5年間で、防犯街路灯のLED化促進期間と定め、時限的に交換費補助金の限度額を増額し、LED灯化に努めています。平成28年度までの3年間で15,625灯の交換が行われ、防犯街路灯の消費電力は、年間およそ1,500キロワット削減されました。



## アクションプラン6：プラスチック製容器分別回収【甲府市】

（内容）甲府市では、「平成30年度の生活系可燃ごみ排出量 市民一人一日当たり480g」とする減量目標を達成するため、プラスチック製容器包装の分別回収を平成28年12月より本格的に開始し、環境負荷の軽減及び資源リサイクルの更なる促進を実現するために取り組んでいます。現在、本市の燃えるごみの排出量は減少傾向にありますが、今回のプラスチック製容器包装の回収が、ごみ減量の一因だと考えています。



この他、アクションプランごとに、市域の取り組み内容を年次報告書（区域施策編）【全編】に掲載しておりますので、甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」をご覧ください。

## 2. 事務事業編

### 事務事業編

甲府市（役所）では、これまで率先的な温室効果ガス排出量の削減として、公共施設の省エネルギーや太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入に取り組んできました。

今後も、本市事務・事業に関する温室効果ガス排出量削減の原単位目標を定め、引き続き市域の温室効果ガス排出量の削減に貢献し、積極的な温暖化対策に取り組んでいきます。

※事務事業編は甲府市（役所）のみで、取り組みを行っています。「甲府市の事務事業における温室効果ガス排出状況について」は、甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」をご覧ください。

甲府市では、温暖化対策情報サイト「こうふのeco」にて、計画の内容のほかCO2削減・省エネに役立つ情報などを紹介しています。「こうふのeco」では、市民の皆様がツイッターから投稿可能な「わいわい広場」や、写真で温暖化の取り組みを紹介しあう「写真deエコ自慢」もあります。「こうふのeco」、ぜひ一度お立ち寄りください。

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/index.html>

